

ダイレクトメール

saitousou

おいおい。サンタは楽な仕事と勘違いされちゃあこまるってもんよ。あんたが想像するサンタは北の国に住んでいて、暖炉のある部屋でロッキングチェアに揺られながら子供たちの手紙を読みふけり、クリスマスになるとトナカイのそりに乗って子供達へのプレゼントをそっと靴下のなかに入れる。おそらくそんなもんだろう。

実はな、サンタはどこの町にもいるんだぜ。俺が属するサンタ協会によると、各町に2、3人はいるらしいな。一般人とおなじ身なりをして普通に生活しているので、ちょっとやちょっとじゃ気がつかないだけなんだ。

それではお前さんもサンタの仕事っぷりを覗いてみるかい。

サンタも会社員と同じ時間に起きて、満員電車で揺られて出勤だ。決してトナカイにのって出勤するんじゃないぞ。目立ってしょうがない。ぼろ事務所についたらすぐさま仕事にとりかかる。貧乏暇無しっていうもんだ。

サンタが最初にする仕事は募金集めだ。そりゃそうだ。子供達にプレゼントをあげるにはお金がいる。まさかサンタがおもちゃやから盗んでくるわけにはいかねえよ。

その募金集めが大変なんだ。サンタという名前を出すわけにはいかねえ。あくまで自分たちはおとぎの世界の住人で、一般の人には決して正体を知られてはいけねえんだから。

ある者は駅前で「恵まれない子供に愛の手を！」とお願いするし、ある者は企業を回り「未来の子供達の為に基金設立にご協力を」とやる。もっとも道端で空き缶を投げ出して座っている者もいるが、これは薦められねえなあ。俺はだな、街角でギター片手にライブで募金活動だ。こう見えても、ギターはうまいんだぜ。

最近は募金のノルマが厳しいんだよね。とにかくプレゼントを買うのにお金がかかる。子供たちが高価なおもちゃを欲しがるようになってきてな。俺が子供の頃はもっと質素な物だった。将棋の駒とか、人形とかなあ。俺は手先が器用だから自分で作ってプレゼントしたこともあったよ。それが今ではゲームだの、パソコンだの、金のかかるものばかりだ。おかげで経費は増大する一方ってもんよ。ここ数年間、給料が上がるどころかボーナスさえカットだ。生活するだけで精一杯だよ。

ええい、ちょっとぐちっぽくなったな。募金のノルマを達成すると次は現地調査だ。どこの家に子供がいて、何を欲しがっているのか調査するのさ。自転車を欲しがっている子供に三輪車をあげてもしょうがない。本を欲しがっている子供にビデオをあげてもしょうがない。つまり、子供たちの需要を的確につかむのが大事ってもんよ。

どうやって子供たちの需要をつかむかという、やはり子供に近づくのが一番だな。学校の用務員になって調べているのもいる。おもちゃ屋の店員になって調べているのもいる。なかには、子供達を尾行して調べようとしたら、ちかんと間違えられた者もいる。まったく、恥ずかしいったらありやしねえ。

これは経験が必要な仕事だな。サンタになって1～2年では、とてもじゃないが無理だ。最低でも10年は修業しないと。

俺は大ベテランだから、顔を見ただけで分かるっていうもんよ。例えばだな、ゲーム攻略本をもっている子供はゲームを欲しがると。え、そのままだって？ いやいや他にもあるんだぜ。唇の右下にほくろがある子供はミニカーを欲しがると。え、なんだそれって？ 経験だよ経験。さらに今回は特別にもう一つ教えてあげよう。几帳面な人はA型だ。あ、これは血液型占いか。まあ、似たようなものよ。

こうした準備を積み重ねて、ついにクリスマスの夜がくるのさ。この日までにプレゼントを買い込み、子供達の家、部屋の位置、欲しいプレゼントを確認するんだ。そして、一年に一度だけサンタ協会から配られるサンタの衣装を着るのさ。このときが一年で一番興奮するね。

ちなみに言うておくが、この服は単なるコスプレとはちがうぞ。この赤と白の衣装には特別な力があるんだぜ。

それはだな。この衣装を着ると、空を飛び、壁をすり抜けることができるようになるのさ。この服のおかげでサンタは自由に子供達の部屋に出入り出来て、こっそりとプレゼントを置くことができるのさ。

さらなる特徴として一般人には見えなくなる。けど、この服にも欠点があって、本当に純粋にサンタを信じている子供には見えちゃうんだな。もし、気づかれちゃったら、そっと唇に人差し指を当てて、「これは二人だけの秘密だよ。サンタさんとの約束だからね」ってやると、子供はだまってうなずいてくれるんだ。そしてプレゼントを見て喜んでくれる。「サンタさん、ありがとう！」って。

その瞬間が、サンタになって良かったなと思う時かな。とにかく、子供の喜ぶ顔を見るのが大好きなんだよね。子供の仕草といい、表情といい、かわいいんだな。一年間の苦労なんて簡単にふっとんじまう。お前さんも、サンタになればわかるってもんよ。

こんなサンタの世界にもひとつ困ったことがあるんだ。最近サンタになろうという若者が少ないんだよね。確かに安月給だし仕事はきつい。だがなあ、夢とやりがいは、どんな仕事にも負けなかつもりだ。

どうだい、君も我々の仲間になってサンタになってみないかね。

就職活動中の僕に、このようなダイレクトメールが届いた。

そして、僕はサンタになった。僕も子供の頃にサンタを見た一人だから。